

【2017年度 事業計画】

I 事業の実施方針

パリ協定の発効で、世界は脱炭素社会をめざし個々に最大限の努力をする方向を共有しました。日本政府の施策は、最大限とは言い難い目標設定、原発再稼働など、私たちが希求する方向を目指しているとは言えません。電力小売全面自由化など電力システムの改革は進みつつありますが、FIT制度の精神は後退し、再エネ特に太陽光発電の広がり著しく鈍化しています。温室効果ガスの削減が、経済合理性を持つことは明らかとなっているものの、再生可能エネルギーを軸とした社会が根付くには、まだまだ多くの時間が必要と思われまます。

私たちは、地球温暖化防止と共に原子力を利用しない社会をめざして、さまざまな制度の変化に柔軟に対応しながら、市民の手で自然エネルギーを普及させるとともに、省エネを進めていきます。当初からめざした方向に広がりを持たせつつ、工夫を凝らして「おひさま発電所」づくりに丁寧、確実に取り組みます。

- ① 市民が関わって設置を進める共同発電所として定着してきた「おひさま発電所」づくりを、さらに進めます。他団体との連携を進め、対象施設も可能な限り広げ、多くの市民と共に地域づくり・まちづくりにつなげます。
- ② 意識と行動の変化を促し、担い手を育てるための環境学習を広げます。
- ③ 「おひさま発電所」となった施設との協力、連携を活かし、地域住民へも働きかけを広げます。
- ④ 上記の活動を達成するため、減少が目立つ会員の拡大にむけて検討委員会を立ち上げて新たな取り組みを検討するとともに、認定NPO法人の制度を活用し、財政基盤の強化につとめます。

II 特定非営利活動に係る事業

太陽光発電設備設置事業

設置協力金、寄付、おひさま基金、補助金などを組み合わせた柔軟な仕組みで、「おひさま発電所」の設置をめざします。地域団体など他団体との連携や、避難所の整備としての観点も加え、対象施設の拡大を模索します。「おひさま基金」についても新たな協力、連携を進め、さらに基盤強化を図ります。

学習活動

- ① 設置施設にとどまらず、環境腹話術・自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 施設の職員対象に、環境への意識改革と行動を促す内容の研修会を実施します。
- ③ 環境学習等の機会をとらえて、「おひさま発電所」見学会を開催します。

サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センターに対する環境活動をサポートします。

- ・おひさま発電所 1 周年記念イベント
 - ・グリーンカーテンコンテスト
 - ・シェアエアコン（うちエコ診断会の実施）
 - ・「夏の夜市」（自治連合会と共催）をはじめとする地域の各種イベントでのエコ活動サ
ポート
 - ・エコさんぽ（グループで地域を散策しながらのワークショップ）
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイス

広報活動

- ① ニュースレターの発行
- 年 2 回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動・温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員・一般市民に提供します。
- ② 各種催しに参加
- 環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ③ ホームページなどを使った情報発信
- ・きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。
 - ・上鳥羽北部いきいきおひさま発電所設置後の活動を紹介します。
 - ・ホームページのアクセス解析などを把握し、今後に活用します。

協力・連携

「気候ネットワーク」「環境市民」「京都府地球温暖化防止活動推進センター」「京エコロジーセンター」「京のアジェンダ 21 フォーラム」「自然エネルギー学校・京都」「K E S 環境機構」「京都グリーン購入ネットワーク」「国際ソロプチミスト京都ーわかば」「中唐戸児童館運営委員会」「京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター」「ネオス株式会社」「株式会社シェアリングマネジメントサービス」「eco ット宇治」「パワーシフト・キャンペーン」以上の団体と協力・連携し活動を推進します。